

寒工高改築工事かわら版

工事についてお気づきの点がございましたら、右記にご連絡ください。

第9号

校舎棟の2階躯体工事と、体育館棟の鉄骨と屋根工事を進めています。



新年あけましておめでとうございます。昨年中は、近隣の皆さま、学校の皆さまには大変お世話になりました。年末年始は心配していたほど、雪が降らずホッとしています。このまま余り雪が多くなければ願うばかりです。

さて、工事は多少の雪の影響はありますが順調に進んでいまして、【管理棟】【産振棟】は2階の躯体工事を、【体育館棟】は鉄骨胴縁取付工事を行なっています。今月からは屋上の防水工事をを行う予定です。

コンクリート打設や材料搬入に伴い、大型車両が出入りする日が続きますが、安全に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。

(左写真) R4.12.26北側上空より



【校舎棟】躯体の型枠を組立てた場所は除雪用シートで養生します。



【校舎棟】場内も積雪がありますが材料はシートで覆い養生しています。



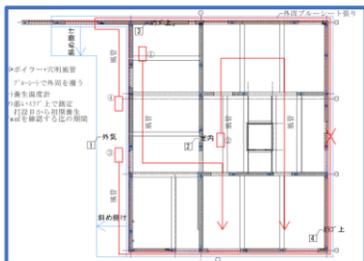
除雪して溜まった雪は場外の雪捨場に排雪します。

～冬期間のコンクリート工事はどうしているの？～



冬期間のコンクリート工事は、型枠内に雪が入ったり凍ったりしないようにシート等で覆い養生します。ただし作業中の降雪は防ぎようがないため、その積雪や凍結した場合は、熱湯で融かしたり、またはジェットヒーター等で建物内部から加温して凍結しないように措置をします。

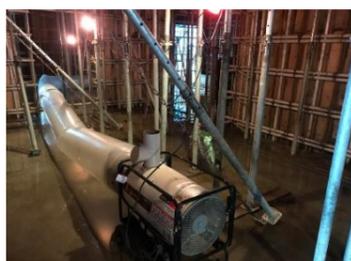
また、コンクリートの主な材料として、水を使います。打設してから硬いコンクリートになるまで、凍結してしまう恐れがあるため、所定のコンクリート強度が発現するまで前出のジェットヒーターで室内外を加温して、規定の温度を下回らないように、コンクリート内部の温度を測って管理します。



養生計画図です。ジェットヒーターやダクトの配置を考えて、万遍なく温まるように計画します。



建物全体をシートで覆い、ジェットヒーターで加温します。



積雪や凍結はありません。



専用の温度計で測っています。

コロナウイルスとインフルエンザ同時流行対策

今年の冬は新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が生じる可能性がテレビなどで取りざたされています。マスクの着用や手洗い、3密回避などを徹底しましょう。



1月の工事予定

- 1/継続
- 1/9～
- 1/18,27
- 1/20.

- 各棟2階躯体及び鉄骨胴縁取付工事
- 体育館屋上防水工事
- 産振棟2階躯体コンクリート打設
- 管理棟2階躯体コンクリート打設

※上記予定は、天候等によりズレが生じる場合があります。

工事期間中は、安全を最優先に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

